

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 4514
25年1月14日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

郵政ユニオン長崎 2025年新春旗開き



旗開きは向井書記長の司会でスタートしました。主催者挨拶で、山田支部長は「ヤマト運輸が協業先である日本郵便に対して委託しているクロネコゆうパケットの委託停

1月11日(土)、支部は「郵政ユニオン長崎2025新春旗開き」を開催しました。

おはようございます。先週から寒気が流れ込み長崎でも積雪を記録しました。市内各所でスリップなどによる事故が多発したようですが、職場では大きな事故はなかった模様です。

止を求めてくるなど、年末年始に世間を騒がせるニュースが続く、日本郵便で働く社員を不安にさせています。ヤマト運輸との協業に関しては協業スタートから見切り発車でしたが、訴訟にまで発展したということは経営陣の責任といえます。また、昨年の被団協のノーベル平和賞受賞は大きな喜びとなりました。今年是被爆80周年ということで、支部でも平和運動に特に力を入れていきたいと思えます。今年も組合員が協力して活動していきます。」と挨拶しまし



続いての来賓挨拶では長崎地区労加世田書記長、長崎県労連鳥巢議長、九州労金長崎支店貴戸次長

新社会党長崎県本部荒木書記長の4名の方に挨拶をいただきました。

また、坂本浩長崎県議会議員からはお祝いのお酒と激励のメッセージを頂きました。紙面を借りて御礼申し上げます。続いて、山内執行委員が乾杯の発声を行い歓談へと移りました。



支部旗開きに関しては執行部で話し合い、料理から飲み物まで自分たちで準備して会場に持ち込む形をとっています。年末からインフルエンザが流行していたこともあり、

の他にも現役組合員の紹介などもあり、参加者は箸を置き、それぞれの挨拶に耳を傾けていました。また、旗開き恒例のじやんけん大会では、熱戦が繰り広げられました。勝ち残った10名が洋菓子ゲットし大いに盛り上がりました。



歓談スタートからあっという間に2時間が過ぎ、お開きの時間となりました。最後は山田支部長の団結ガンバローで締めく



くり、参加者全員で記念撮影を行いました。来年も開催する事を参加者にお約束して「郵政ユニオン長崎2025新春旗開き」は閉会しました。

間前着手 なくならない時

「始業時間前に巻き取りで3階にあがっている通配者用のゆうパックを区ごとに仕分ける」「休憩時間中に書留の返納や2号便交付を受ける」などが勤務時間を守れない社員が見受けられます。

また、帰局が休憩開始時間に間に合わなかった社員が1時間休憩時間を取得していないこともあるようです。

以前ミーティングの中で課長から注意があったものの、なくなるのはその一時だけ。定期的な周知が必要だと考えます。休憩時間の未取得(サービスマン残業)というのは、法律違反です。

休憩時間は体を休める意味合いもあると思うので、体調管理を行うためにも確実に取得しましょう。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

ゆげは、均等待遇、なげんし差別！

ユニオンは労契法裁判に勝利するぞ！

